

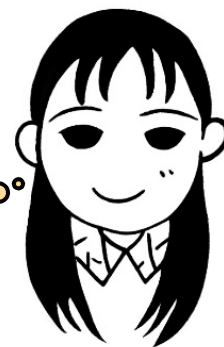
はちのこだより No.17

令和6年11月18日 校長だより
法典東小学校長 渡部 香里

11月 全校朝会「おおきな木」



HPにも掲載
しています。



11月13日(水)、11月の全校朝会がありました。11月は、図書委員会が「読書フェア」^{だいせいきょう}で、クラス対抗スタンプラリーを考えてくれていて、休み時間の図書室は大盛況です。朝会では、「読書の秋」にちなんで、「おおきな木」という絵本を読み、クラスに帰ってから、感想を書いてもらいました。「木の気持ち」、「男の子の気持ち」をよく考えてくれました。以下は感想です。

○木が しょうねんに やさしくしたところが ころろにのこりました。なぜなら やさしくしたら あいても うれしくなれるからです。(1年生)

○ぼうやから おじいさんになるまで 木がぼうやのねがいを かなえてあげて いて 木はやさしいとおもいました。(1年生)

○かんどうするお話で、木がやさしかった。ホッとできるお話。男の子が木のところに行って、何回も いろいろな じじょうを話していて、木も 男の子も友だち 思いだった。何回聞いても いい気持ちになるお話。英語でも意味がわかって かんどう2ばい でした。(2年生)

校長による読み聞かせ



クラスでの話し合いの様子



○今日は おおきな木のお話をよんでいただきありがとうございました。校長先生とリア先生が 英語バージョンで 読んでくれたのがすごかったです。図書室でかりてみたいです。(2年生)

○「おおきな木」は感動するお話でした。木は、ぼうやから少年、青年、お年寄りになるまでたよられていました。お年寄りになったぼうやは「ありがとう。」と思っています。(3年生)

○木にすわった男の子は「たくさん君の体をつかってしまい、ごめんなさい。」と かんしゃしていると思う。木は「もうなにもないけれど 役に立ててよかったな。」と思ったと思う。私は、木のすがたをみて、自分より男の子の方を大切に していてすごいなと思いました。(4年生)

○少年にとって 木は 気軽に話せる家族みたいなそんざいだと思います。今までぼくのために いろんなことをしてくれて ありがとうと思っていると思います。木は「私にたよってくれてありがとう。うれしかったし、たよれるそんざいになれてうれしいよ。」と思っていると思います。とても深い話で、私も木のようにたよられる 優しいそんざいでいたいです。木の性格みたいに私もなりたい と思いました。(5年生)

○切り株にすわったぼうやは「申し訳なさ」や「かなしさ」を思っている。木は「いろいろぼうやの役に立てたな。また役に立ちたいな...」と思っていると思う。感謝や喜びの伝え合いを感じるお話で、ぼうやのためにつくせる木もすごいし、その木にとっても感謝しているぼうやのやさしい気持ちがとても伝わり、かなしみも喜びもやわらかく伝わる絵本でした。(6年生)